

令和6年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立千鳥小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・児童の発達段階に合わせて、用具や材料の提示の仕方、使い方の指導を工夫することにより、ほとんどの児童が主体的に活動に取り組み、各学年に応じた知識・技能を身に付けることができた。
- ・手や体全体を働かせて材料や用具に関わりながら表したいことを見付け、つくりだす喜びを味わうことができた。

(2) 課題

- ・造形活動に意欲的に取り組むことができるが、他者に自分の思いを伝えるために、さらに考えを深めたり、工夫をしたりしていくことについて意識をもたせるようにする。
- ・自信のなさや、失敗をすることへの不安から、課題によって活動がなかなか進められない児童もいる。
- ・見通しがもてず、課題が授業時間に終わらない児童がいる。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・手や体全体の感覚を働かせて材料や用具を使うことができるよう、発達段階に合わせた材料や用具の使い方を提示し、知識や技能が身に付けられるようにする。 ・公共の意識をもち、材料・用具を大切に使うことができるよう繰り返し指導する。	・自分や友達の活動や、作品の中からよさを見付けることができるよう、活動や、鑑賞の時間での取り組み方を工夫する。	・一人一人の活動や、作品のよさを認め、それぞれの児童が思いをもって活動に取り組めるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・児童が自分の表したいことを、様々な材料や用具、表現方法を試しながら活動ができるようにする。	・児童が、自分の表したいことからさらに発想や見方や感じ方を広げることができるよう、活動の流れや、発想の広げ方について指導する。	・題材の提示の際に、より、児童にわかりやすく「ねらい」について伝えるようにする。 ・活動の最中にも児童が「ねらい」について理解しているか個別に指導していく。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・これまでの経験を生かしつつ、材料や用具を自分の表現したいように活用することができるよう、材料・用具の特徴やよさについて気付けるように指導を行う。 ・動線や、用具の適切な量を確保し、のびのびと活動できるようにする。	・これからも、自分や友達の考えは大切にしていけるよう指導していくとともに、形や色、材料の特徴や、構成の美しさなどの視点を提示したり、児童から意見を出させ、活動をより深めることができるよう指導する	・児童が、自分の思いを大切にしながら、それぞれの違いを認め合い、自分の表現をより豊かにしていくことができるよう、互いの作品のよさを認めたり、自分の活動をふりかえったりする機会を設けるようにする。